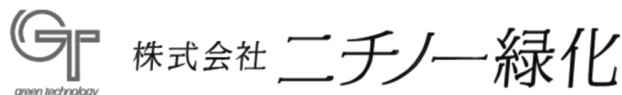


## 株式会社ニチノ一緑化

<http://www.nichino-ryokka.co.jp/>



マーケティング部長 福島 裕 info@nichino-ryokka.co.jp

### 1. 会社紹介

(株)ニチノ一緑化は日本農薬(株)の緑化部門を分離し、全額出資の子会社として昭和49年(1974)に設立されました。

日本農薬(株)が持つ農薬技術の知識を基に総合造園建設業を目指してスタートを切り、その後ゴルフ場向け芝用農薬や緑地向け農薬の販売、ゴルフ場コース管理、芝生の生産・販売、芝生関連資材や張芝工事、家庭園芸薬剤の販売等幅広い事業展開を行ってきました。これらの事業で得た経験や知識を生かし、「みどり空間における唯一のトータルソリューション企業となる」をVisionに掲げ、より豊かな緑化環境の総合的な創造を目指して日々精進していきたいと思えます。

### 2. 枯らさず抑える植物成長調整剤『グリーンフィールド』

膨大な緑地を持つ高速道路、鉄道、電力等の企業や団体から一番多く寄せられる相談は雑草の管理方法です。

これまでも雑草の発生を抑える改良ノシバ(商品名:エルトロ)やイワダレソウ改良種(商品名:クラピア)の提案をしてきました。除草剤による管理も試みてきましたが、景観を重視する緑地管理現場では、植物を枯殺する除草剤の使用には制限が多く、そこで注目したのが、樹木を含む植物の成長をコントロールする植物成長調整剤です。

植物成長調整剤は農業分野において広く使われている薬剤です。植物の成長を抑制するグリーンフィールド(有効成分:フルルプリミドール)は、雑草を枯らすことなく成長を緩やかにする事ができます。そのため、年間の草刈り回数を軽減できるだけでなく、刈込んだ際に発生する植物残渣の排出量も抑えられ、また雑草の繁茂を抑える事で景観を維持することができます。



写真-1 グリーンフィールドの効果

### 表-1 会社概要と連絡先

所在地	東京都中央区日本橋小伝馬町 14-4
電話	03-3808-2281
創業年	昭和49年6月1日
資本金	1億6千万円
営業資格	造園工事業、土木工事業、とび・土工工事業、農薬販売業、毒物劇物販売業、肥料販売業

### 3. 手間を省く殺虫剤『ロックオン』

雑草の次に相談が多く寄せられるのが薬剤による樹木の害虫駆除についてです。

害虫によっては人に害を与えたり樹木を丸裸にしたり、街路樹を管理する方々には悩ましい問題です。また、発生が一度ではない事も多く、近隣に配慮しながら何度も防除作業に追われることになります。そこで、長期間効果の続く樹木用殺虫剤ロックオン(有効成分:フルベンジアミド)を2018年に販売開始しました。

ロックオンは、チャドクガやマイマイガ等のチョウ目害虫を選択的に防除することが可能で、樹木の葉に薬液を散布しておくことで長期間害虫の発生を抑えることができます。

### 4. 設計・施工・管理全般の造園工事

弊社は、東京都中央区における公園を含む造園等の公共工事を始め、民間工事も手掛けています。新設の公園工事は勿論、遊具の少なかった公園に砂場や遊具、芝生を敷設するといった改修工事や公園等の設計、施工、管理、そのほかマンションの植栽管理等も請け負っています。最近では、太陽光発電施設の管理において、グリーンフィールドを用いた下草管理でのコスト削減を提案する等、緑化管理において幅広いソリューションの提供をめざしています。

### 5. 独自品種の芝開発

雑草の発生を抑制し、ダメージにも強く厚いライゾーム層を形成する改良ノシバ(商品名:エルトロ)を長年取扱ってきました。また緑色維持期間が長いコウライシバ系ハイブリット芝(商品名:ピクトール)や、ゴルフ場のグリーンに最適なきめ細やかな葉が特長のウルトラドワーフパーミューダグラス(商品名:チャンピオンドワーフ)等様々な独自芝品種を生産しております。